

カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター
 実施機関名：人材開発マネジメント 株式会社

A.生産管理	生産・開発計画	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
--------	---------	--------------------

コースのねらい	製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。
---------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	ものづくりの仕事の流れ	(1)ものづくりとは何か ・ものをつくるとは、ものづくりの本質について解説し、ものづくりに携わることへの自信と意欲を高める。 ・ものづくりの工程全般と仕事に対する取組み姿勢について解説する。 (2)製品のライフサイクル【演習あり】 ・導入期、成長期、成熟期、衰退期の製品ライフサイクルの解説を行い、自社製品をライフサイクル上に置いてみることで問題発見の視点を高める。	1.5
	2	ものづくり現場の現状と課題	(1)製造業のPQCDSME【演習あり】 ・作業の3分類、基本4工程について解説し演習を行う。 ・PQCDSMEの重要性など、生産性向上につながるキーワードから、具体的なねらいと数値目標について考える。 (2)生産管理のしくみ ・生産管理の基礎と手法について解説し、生産性を高め、コストを低減するための事例について紹介する。 (3)製造現場の5S【演習あり】 ・5Sの基本を解説し、自職場の現状についてチェックシートで確認することで改善への着眼点を身につける。	3.0
	3	ものづくりに関する業務改善	(1)改善活動の基本【演習あり】 ・改善活動のステップを理解し、発見したムダを改善するための手順と要領など、改善に必要な基本知識を習得する。 (2)問題発見・解決【演習あり】 ・作業工程に潜むムダを発見し、グループワークによって改善につなげる。 (3)改善と気づき ・改善活動による評価の仕方、気づきの共有の仕方について解説する。	1.5
合計時間			6.0	

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
	・PC(講師用) ・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード OS: Windows8または10 アプリケーション: Microsoft Office 2010または2016 PowerPoint、Excel
●テキスト	●その他
オリジナルテキスト	・コロナ感染症防止、3密対策を行います。 ・研修効果を高めるため、演習は複数人で行います。 ・グループ討議は班に分かれて進めます。